

学生確保の見通し等を記載した書類 参考資料

【目次】

資料 1	本学大学院入学者等の実績・・・・・・・・・・・・・・・・	1
資料 2	北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果・・・・・・・・ (北海道内学校管理職向けアンケート)	3
資料 3	北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果・・・・・・・・ (学部直進者向けアンケート)	11
資料 4	北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果・・・・・・・・ (附属学校教員(管理職)向けアンケート)	21
資料 5	北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果・・・・・・・・ (附属学校教員(一般教員)向けアンケート)	27
資料 6	北海道教育大学附属学校教員大学院研修制度実施要項(案)・・・・・・・・	35

本学大学院入学者等の実績

資料1-1

過去5年間における教職大学院入学者数

年度	現職教員				学部直進者等				入学者計
	派遣教員	非派遣教員	附属教員	現職計	学部直進者	社会人等	非現職計		
								うち 学外者	
H28	12	5	3	20	15	(1)	0	15	35
H29	14	3	5	22	18	(3)	0	18	40
H30	8	6	6	20	18	(3)	2	20	40
H31	7	3	5	15	10	(1)	0	10	25
R2	12	3	4	19	15	(6)	2	17	36
平均	10.6	4.0	4.6	19.2	15.2	(2.8)	0.8	16.0	35.2

資料1-2

過去5年間における修士課程修了者のうち教員就職者数 (現職者及び学校臨床心理専攻を除く)

年度	学校教育 専攻	教科教育 専攻	養護教育 専攻	計	【参考】	
					教員志望者	修了者
H26	3	31	0	34	34	72
H27	6	25	2	33	33	55
H28	10	18	1	29	29	55
H29	10	31	0	41	43	63
H30	3	37	1	41	41	60
平均	6.4	28.4	0.8	35.6	36	61

北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果 (北海道内学校管理職向けアンケート)

対象者: 修学校の近隣地域(札幌市、石狩管内、小樽市、上川管内、釧路管内、渡島管内)の小学校・中学校 及び 全道の高等学校・特別支援学校の管理職

実施時期: 令和元年8月9日～8月30日

送付数	1,207
回答数	726
回答率	60.1%

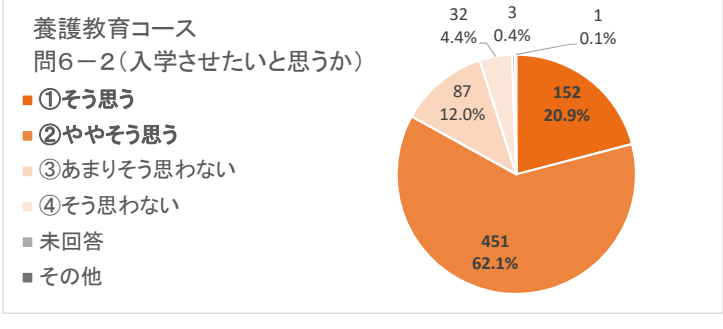
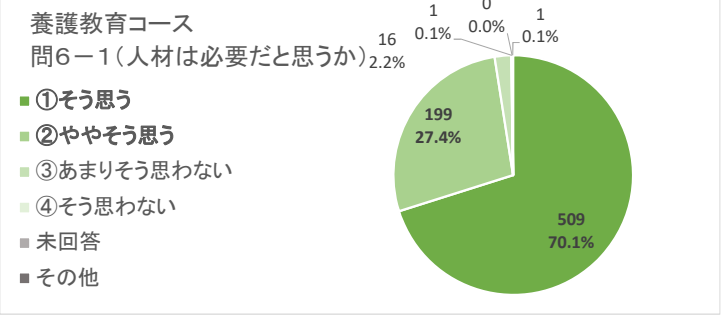
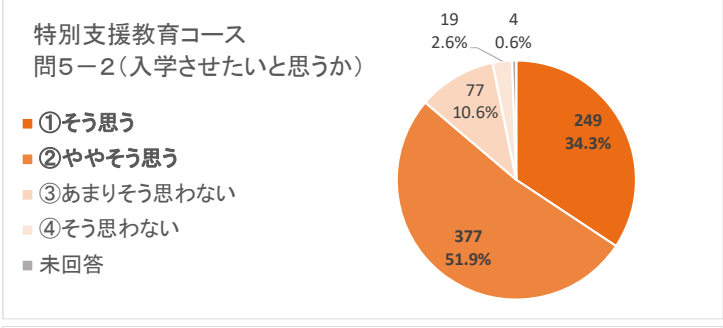
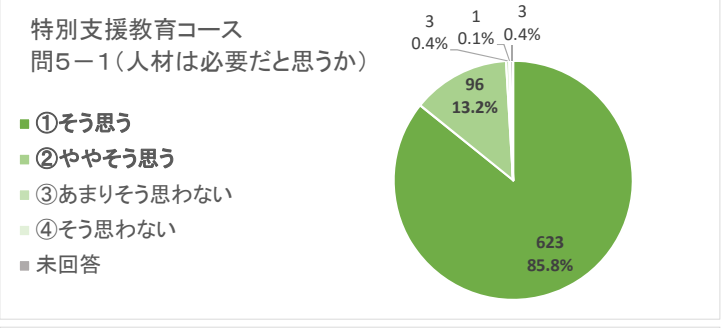
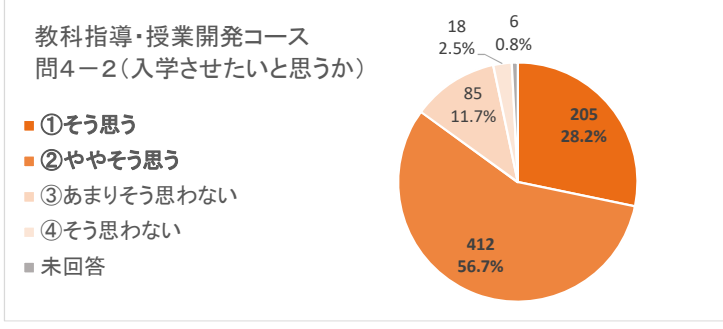
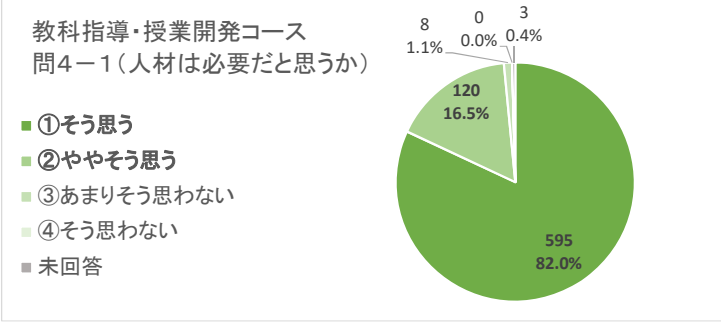
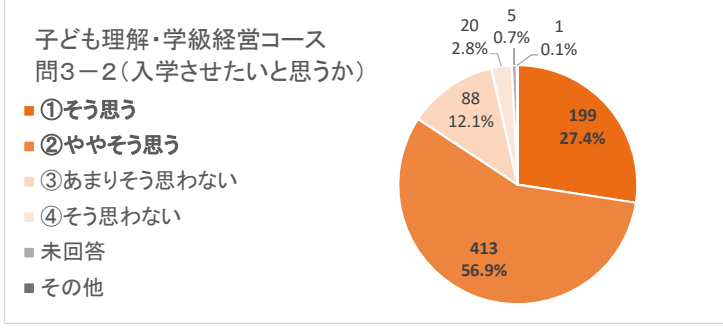
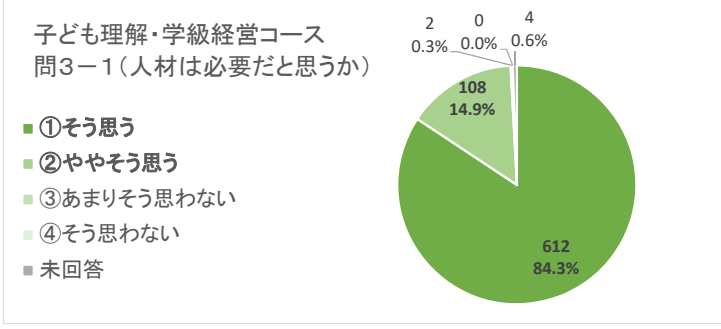
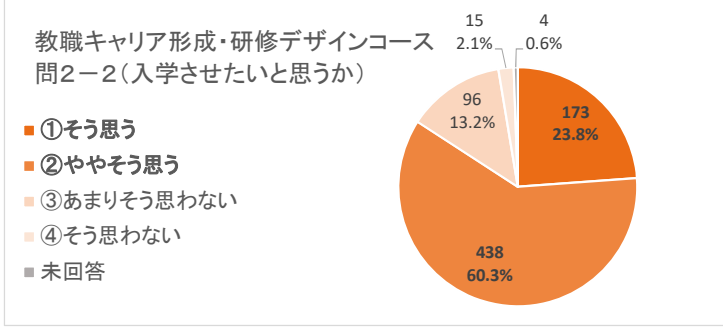
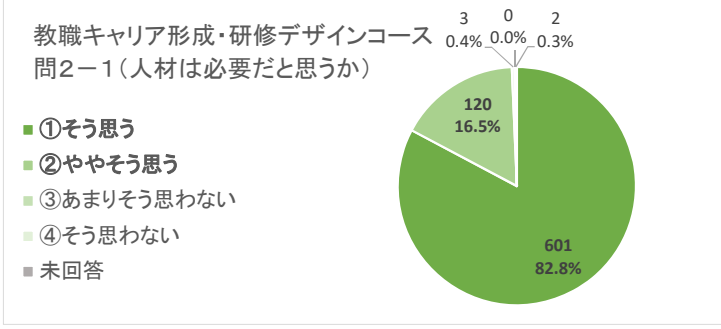
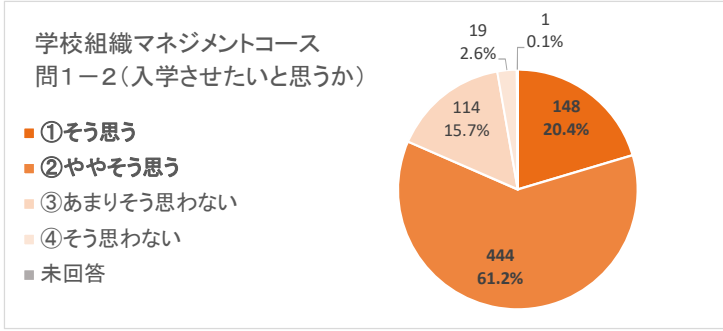
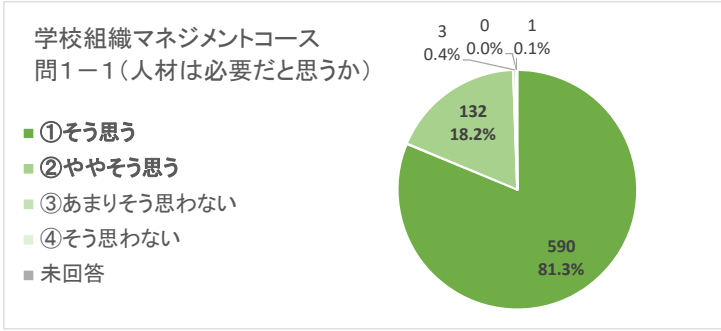
※資料2～5のアンケート集計結果の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

資料2-1

設問1

問1 令和2年度から、1年間で修了できる短期履修学生制度(教育委員会派遣を対象)を導入することを知っているか

①知っている	286	39.4%
②知らない	421	58.0%
未回答	19	2.6%
合計	726	100.0%



資料2-3

問7 この先5年間で、貴校教員の何名くらいが本学教職大学院への入学を希望すると思うか
※「1～3人」のような範囲をもつ回答については、最小値の「1人」として計算している。

各校の予測人数(A)	回答者数(B)	(A)×(B)
0	220	0
1	264	264
2	93	186
3	28	84
4	1	4
5	15	75
10	2	20
20	1	20
21	1	21
不明	44	0
未回答	46	0
その他	11	0
合計	726	674

入学を希望すると思われる教員は、674人／5年間 → 年間で134.8人

北海道教育大学教職大学院に関するアンケート

平成20年4月、教員養成に特化した専門職大学院として北海道教育大学教職大学院（大学院教育学研究科（高度教職実践専攻））を設置し、今年度（令和元年度）で12年目を迎えました。そして令和3年度から、学校経営力を強化する管理職育成から、教科指導力や学級経営力を強化する中核的教員の育成、さらに特別支援教育や養護教育を担う教員の更なる力量形成を担うことのできる、全6コースに改組（リニューアル）する予定です。いずれのコースも現職者の学修に対応するため夜間開講を中心としています。

この度、少しでも多くの方に本学の新教職大学院について知っていただくとともに、改組に向けたニーズを把握するためにアンケートを実施させていただきます。

御多忙中のところ恐縮ではございますが、御協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、御回答いただく内容は統計的に処理し、個人や学校を特定した学内外への公表は行いません。

また、上記目的外の使用はいたしませんので御安心ください。

令和元年8月吉日

北海道教育大学長 蛇 穴 治 夫

学校名			
教員数	名	回答者役職	

設問1

問1 本学教職大学院では、令和3年度の改組（リニューアル）に先立ち、来年度（令和2年度）から1年間で修了できる短期履修学生制度（教育委員会派遣を対象）を導入します。この制度を御存じですか。（一択）

①知っている

②知らない

設問2

学校組織マネジメントコース

このコースでは、学校経営や教育行政において管理職や指導的役割を果たす人材に求められる、学校経営・管理能力及び教育行政専門力を高度に育成します。

授業科目例：「学校組織マネジメントの理論」、「管理職に求められるリーダーシップ」、「学校運営と教育法規」、「教員の働き方と校務の効率化」

問1-1 学校経営・管理能力及び教育行政専門力を有する人材が必要だと思いますか。（一択）

①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問1-2 今後、貴校教員を本学教職大学院の「学校組織マネジメントコース」に入学させたいと思いますか。（一択）

①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問1-3 問1-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

（次のページに続きます。）

教職キャリア形成・研修デザインコース

このコースでは、学校や地域の研究推進リーダー及び教育委員会等の指導的役割を担う人材に求められる、学校や地域におけるミドルリーダー力を育成します。

授業科目例：「教師としてのキャリア・デザイン」、「学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題」、「授業研究の理論と実践」、「カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用」

問2-1 学校や地域におけるミドルリーダー力を有する人材が必要だと思いますか。(一択)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問2-2 今後、貴校教員を本学教職大学院の「教職キャリア形成・研修デザインコース」に入学させたいと思いますか。(一択)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問2-3 問2-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

子ども理解・学級経営コース

このコースでは、子どもの成長や発達について深く理解するとともに、教育の専門家に求められる児童・生徒指導力及び学級・集団等における指導力を育成します。

授業科目例：「子どもと教師の関係づくり」、「子どもの問題行動の実際と実践的対応」、「学級経営の実際と課題Ⅰ・Ⅱ」、「キャリア教育の実際と課題」、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」

問3-1 子どもの成長や発達について深く理解するとともに、児童・生徒指導力及び学級・集団等における指導力を有する人材が必要だと思いますか。(一択)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問3-2 今後、貴校教員を本学教職大学院の「子ども理解・学級経営コース」に入学させたいと思いますか。(一択)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問3-3 問3-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

教科指導・授業開発コース

このコースでは、多様な子どもの学びを展開する教科指導の実践に係る専門家に求められる、小中高の各教科における専門的な教科指導力及び教材開発力を育成します。

授業科目例：「授業デザインの基礎」、「教科等横断的な視点に立った授業開発」、「学習評価の理論と実際」、「総合的な学習の時間の実践と課題」、「教科内容研究Ⅰ（国語科教育国語学分野）」、「教科内容研究Ⅱ（社会科教育歴史学分野）」、「教科内容研究Ⅲ（理科教育生物学分野）」

問4-1 小中高の各教科における専門的な教科指導力及び教材開発力を有する人材が必要だと思いますか。（一択）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問4-2 今後、貴校教員を本学教職大学院の「**教科指導・授業開発コース**」に入学させたいと思いますか。（一択）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問4-3 問4-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

特別支援教育コース

このコースでは、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善・克服する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目例：「特別支援教育の教育課程と授業の在り方」、「特別支援教育における教育相談と保護者支援」、「特別支援教育コーディネータの役割と課題Ⅰ・Ⅱ」、「障害のある子どもの理解と支援」

問5-1 障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善・克服するための高度な指導力を有する人材が必要だと思いますか。（一択）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問5-2 今後、貴校教員を本学教職大学院の「**特別支援教育コース**」に入学させたいと思いますか。（一択）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問5-3 問5-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

（次のページに続きます。）

養護教育コース

このコースでは、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、子どもの心身の健康問題に対応する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目名：「保健組織活動におけるマネジメント」、「養護活動と保健教育」、「養護実践の理論と方法」、「子どもの心身の健康における協働的援助」

問6-1 保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、子どもの心身の健康問題に対応する専門家に求められる高度な指導力を有する人材が必要だと思いますか。(一択)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問6-2 今後、貴校教員を本学教職大学院の「養護教育コース」に入学させたいと思いますか。(一択)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問6-3 問6-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

問7 この先5年間で、貴校教員の何名くらいが本学教職大学院への入学を希望すると思いますか。

_____ 名

問8 教職大学院改組計画全体について、御意見・御要望等がございましたら、御記入をお願いします。

以上です。御協力ありがとうございました。

御回答後は、同封の返信用封筒にて8月30日(金)までに返送いただくと幸いです。

担当：企画課企画・研究グループ
住所：札幌市北区あいの里5条3丁目1-3
連絡先：s-kikaku@j.hokkyodai.ac.jp

北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果 (学部直進者向けアンケート)

対象者:本学学部学生(令和元年度3・4年生)

実施時期:令和元年10月1日～10月15日

	4年生	3年生
対象者数	1,306	1,213
回答数	807	784
回答率	61.8%	64.6%

○回答者の属性

【4年生】

札幌校 教員養成課程

① 学校教育専攻	17	2.1%
② 特別支援教育専攻	15	1.9%
③ 言語・社会教育専攻	52	6.4%
④ 理数教育専攻	33	4.1%
⑤ 生活創造教育専攻	12	1.5%
⑥ 芸術体育教育専攻	17	2.1%
⑦ 養護教育専攻	22	2.7%
⑧ その他	0	0.0%

旭川校 教員養成課程

⑨ 教育発達専攻	37	4.6%
⑩ 国語教育専攻	25	3.1%
⑪ 英語教育専攻	19	2.4%
⑫ 社会科教育専攻	26	3.2%
⑬ 数学教育専攻	23	2.9%
⑭ 理科教育専攻	26	3.2%
⑮ 生活・技術教育専攻	21	2.6%
⑯ 芸術・保健体育教育専攻	25	3.1%
⑰ その他	0	0.0%

釧路校 教員養成課程

⑱ 地域学校教育専攻	39	4.8%
⑲ 地域・環境教育専攻	32	4.0%
⑳ 学校カリキュラム開発専攻	92	11.4%
㉑ その他	0	0.0%

函館校 国際地域学科

㉒ 地域協働専攻	179	22.2%
㉓ 地域教育専攻	35	4.3%
㉔ その他	0	0.0%

岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科

㉕ 芸術・スポーツビジネス専攻	8	1.0%
㉖ 音楽文化専攻	10	1.2%
㉗ 美術文化専攻	18	2.2%
㉘ スポーツ文化専攻	20	2.5%
㉙ その他	0	0.0%
未回答	4	0.5%
合計	807	100.0%

資料3-1

【3年生】

札幌校 教員養成課程

① 学校教育専攻	19	2.4%
② 特別支援教育専攻	11	1.4%
③ 言語・社会教育専攻	52	6.6%
④ 理数教育専攻	27	3.4%
⑤ 生活創造教育専攻	13	1.7%
⑥ 芸術体育教育専攻	15	1.9%
⑦ 養護教育専攻	19	2.4%
⑧ その他	0	0.0%

旭川校 教員養成課程

⑨ 教育発達専攻	33	4.2%
⑩ 国語教育専攻	31	4.0%
⑪ 英語教育専攻	19	2.4%
⑫ 社会科教育専攻	32	4.1%
⑬ 数学教育専攻	27	3.4%
⑭ 理科教育専攻	29	3.7%
⑮ 生活・技術教育専攻	24	3.1%
⑯ 芸術・保健体育教育専攻	19	2.4%
⑰ その他	0	0.0%

釧路校 教員養成課程

⑱ 地域学校教育専攻	30	3.8%
⑲ 地域・環境教育専攻	33	4.2%
⑳ 学校カリキュラム開発専攻	87	11.1%
㉑ その他	0	0.0%

函館校 国際地域学科

㉒ 地域協働専攻	144	18.4%
㉓ 地域教育専攻	44	5.6%
㉔ その他	1	0.1%

岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科

㉕ 芸術・スポーツビジネス専攻	20	2.6%
㉖ 音楽文化専攻	8	1.0%
㉗ 美術文化専攻	26	3.3%
㉘ スポーツ文化専攻	20	2.6%
㉙ その他	0	0.0%
未回答	1	0.1%
合計	784	100.0%

資料3-2

○設問1 令和3年度に教職大学院が改組することを知っているか

【4年生】

①知っている	183	22.7%
②知らない	618	76.6%
未回答	6	0.7%
合計	807	100.0%

【3年生】

①知っている	136	17.3%
②知らない	642	81.9%
未回答	6	0.8%
合計	784	100.0%

資料3-3

○設問2 本学教職大学院へ進学する場合、すでに北海道又は札幌市の教員採用試験に合格していても、大学院修了まで2年間採用が猶予されることを知っているか

【4年生】

①知っている	532	65.9%
②知らない	270	33.5%
未回答	5	0.6%
合計	807	100.0%

【3年生】

①知っている	372	47.4%
②知らない	407	51.9%
未回答	5	0.6%
合計	784	100.0%

資料3-4

○設問3 進路について

問1 将来の職業として教師を目指しているか

【4年生】

①はい	396	49.1%
②迷っている	73	9.0%
③いいえ	336	41.6%
未回答	2	0.2%
合計	807	100.0%

【3年生】

①はい	350	44.6%
②迷っている	186	23.7%
③いいえ	246	31.4%
未回答	2	0.3%
合計	784	100.0%

資料3-5

問2 教師になる前にどんな知識や力を高めておきたいか(複数回答可)

【4年生】

①子どもの成長や発達に関する知識	397	12.3%
②児童・生徒指導力	420	13.0%
③学級経営力	392	12.1%
④教育相談力	241	7.4%
⑤教科内容の知識	282	8.7%
⑥教科指導力	405	12.5%
⑦教材開発力	230	7.1%
⑧特別支援教育に関する知識	211	6.5%
⑨特別支援教育における指導力	175	5.4%
⑩障害のある子どもを支援する力	205	6.3%
⑪養護教育に関する知識	63	1.9%
⑫保健室を経営する力	35	1.1%
⑬心身の健康問題に対応する力	152	4.7%
⑭その他	28	0.9%
合計	3,236	100.0%

【3年生】

①子どもの成長や発達に関する知識	379	12.3%
②児童・生徒指導力	405	13.2%
③学級経営力	395	12.8%
④教育相談力	213	6.9%
⑤教科内容の知識	307	10.0%
⑥教科指導力	401	13.0%
⑦教材開発力	239	7.8%
⑧特別支援教育に関する知識	176	5.7%
⑨特別支援教育における指導力	143	4.6%
⑩障害のある子どもを支援する力	177	5.8%
⑪養護教育に関する知識	47	1.5%
⑫保健室を経営する力	29	0.9%
⑬心身の健康問題に対応する力	146	4.7%
⑭その他	20	0.6%
合計	3,077	100.0%

資料3-6

問3 大学院への進学を考えているか

問4 大学院に進学するとしたら、どこで学びたいか

【4年生】

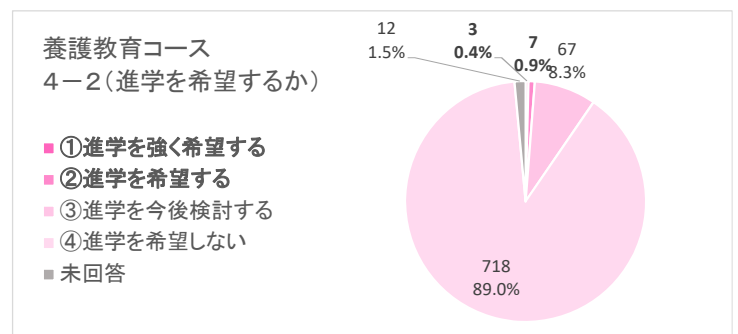
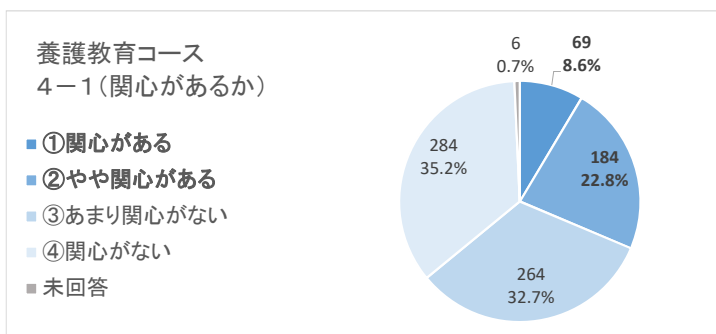
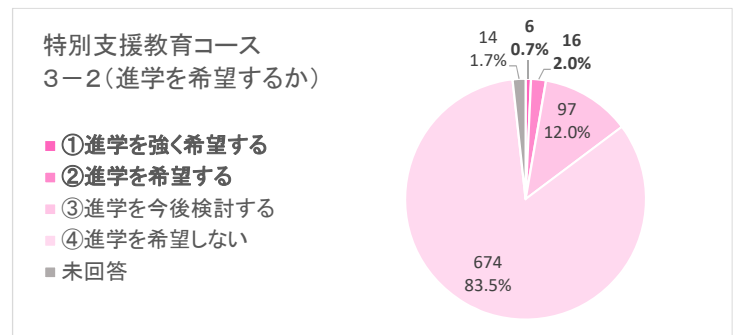
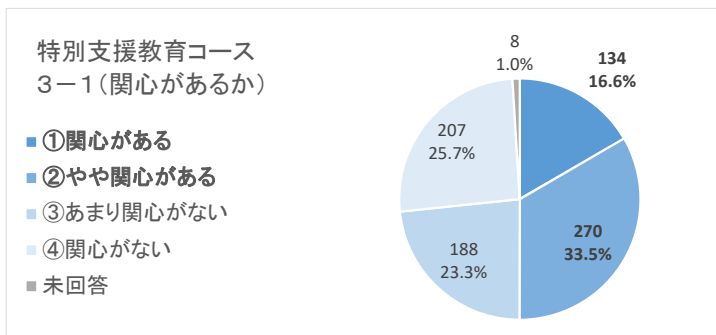
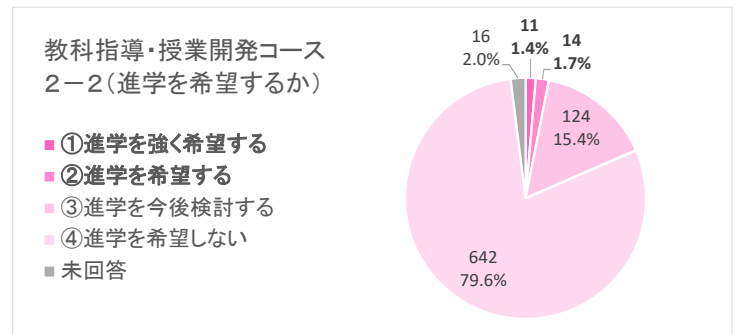
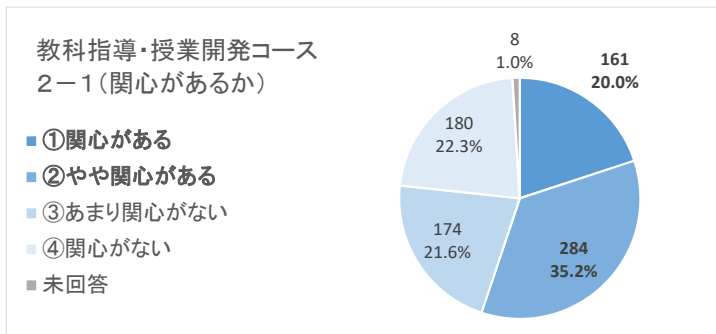
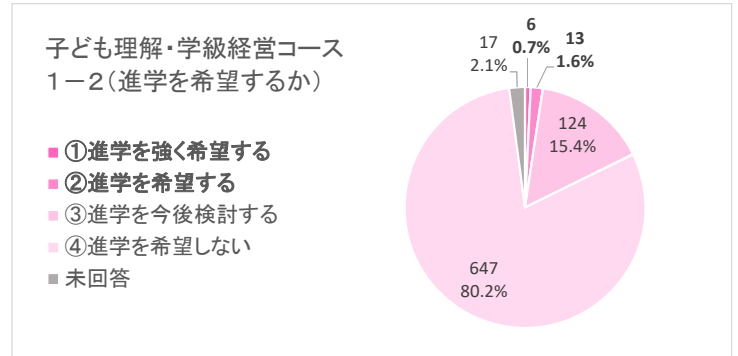
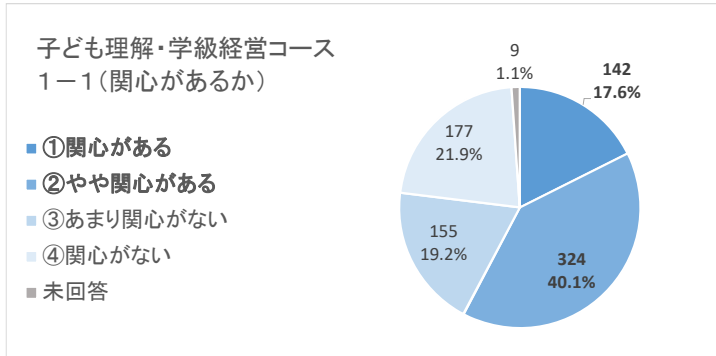
問3 ①進学したい 問4 ①本学教職大学院	13	1.6%
問3 ②今後検討したい 問4 ①本学教職大学院	74	9.2%
問3 ①進学したい 問4 ②他大学の教職大学院	5	0.6%
問3 ②今後検討したい 問4 ②他大学の教職大学院	31	3.8%
問3 ①進学したい 問4 ③その他	28	3.5%
問3 ②今後検討したい 問4 ③その他	23	2.9%
問3 ③進学の可能性はない	625	77.4%
未回答	8	1.0%
合計	807	100.0%

【3年生】

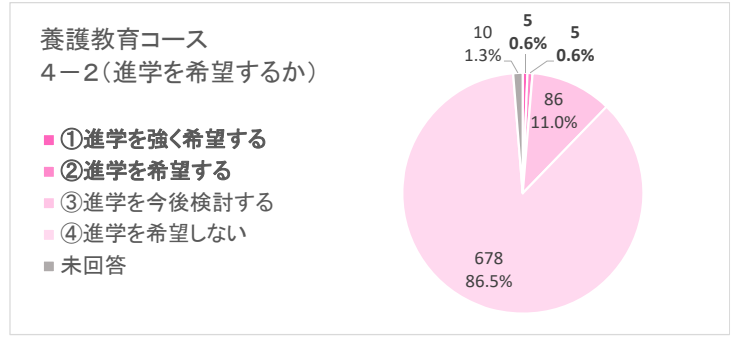
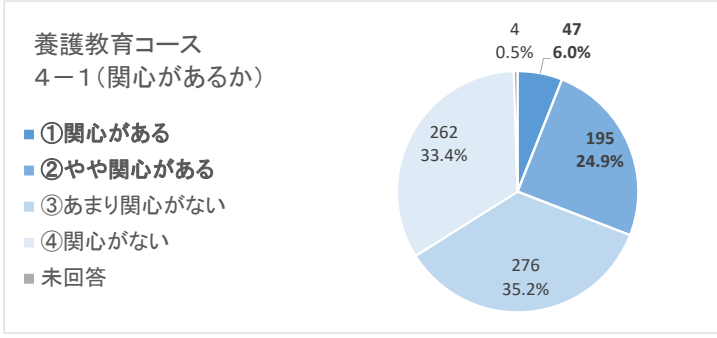
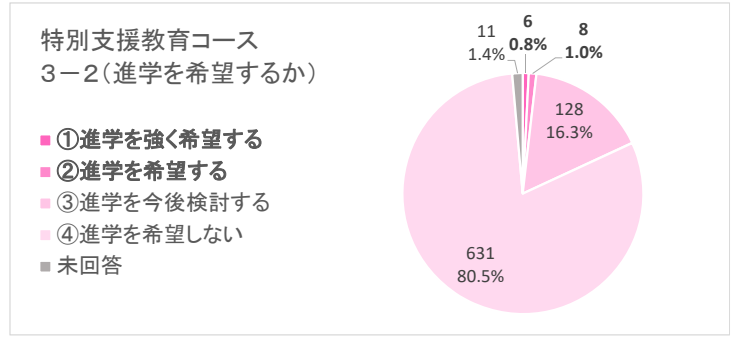
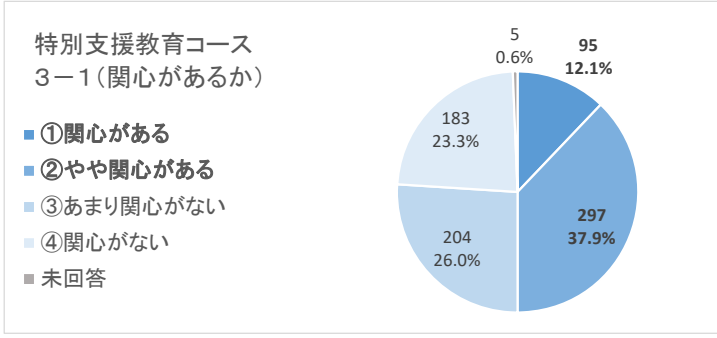
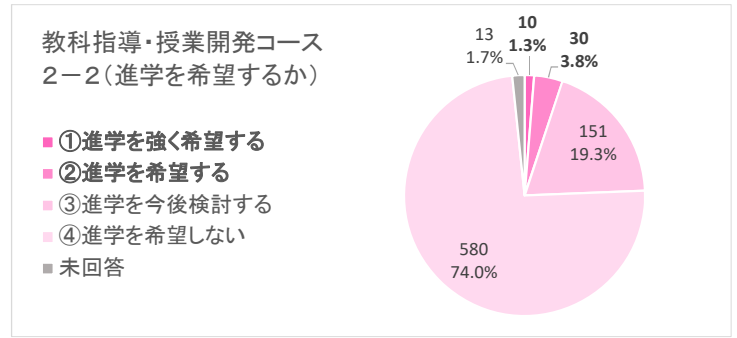
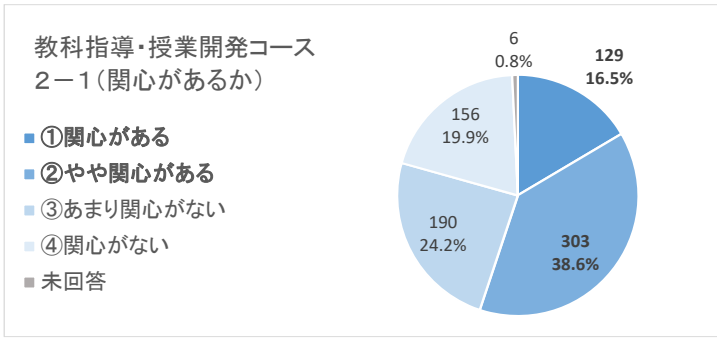
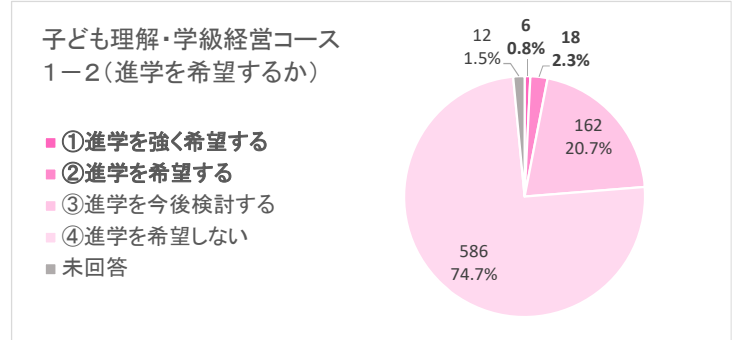
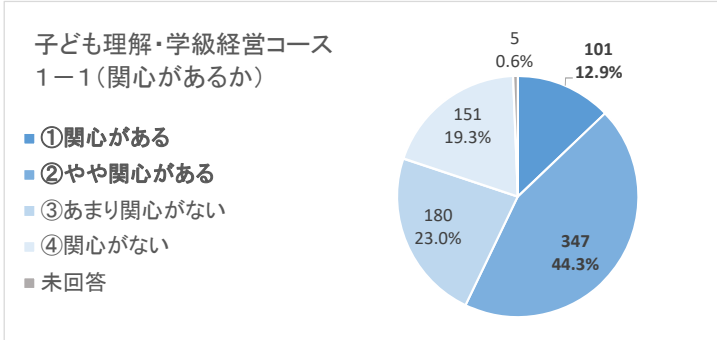
問3 ①進学したい 問4 ①本学教職大学院	10	1.3%
問3 ②今後検討したい 問4 ①本学教職大学院	88	11.2%
問3 ①進学したい 問4 ②他大学の教職大学院	9	1.1%
問3 ②今後検討したい 問4 ②他大学の教職大学院	58	7.4%
問3 ①進学したい 問4 ③その他	20	2.6%
問3 ②今後検討したい 問4 ③その他	34	4.3%
問3 ③進学の可能性はない	558	71.2%
未回答	7	0.9%
合計	784	100.0%

○設問4 新教職大学院の4コースへの関心の度合い、進学希望状況

【4年生】



【3年生】



○設問5

問1 本学教職大学院の説明会に参加したいか

【4年生】

①参加したい	72	8.9%
②参加したくない	727	90.1%
未回答	8	1.0%
合計	807	100.0%

【3年生】

①参加したい	120	15.3%
②参加したくない	659	84.1%
未回答	5	0.6%
合計	784	100.0%

北海道教育大学教職大学院に関するアンケート

平成20年4月、教員養成に特化した専門職大学院として北海道教育大学教職大学院（大学院教育学研究科（高度教職実践専攻））を設置し、今年度（令和元年度）で12年目を迎えました。そして令和3年度から、子ども理解・学級経営、教科指導・授業開発、特別支援教育及び養護教育等に対応した全6コースに改組（リニューアル）する予定です。

この度、少しでも多くの方に新教職大学院について知っていただくとともに、改組に向けたニーズを把握するためにアンケートを実施しますので、回答にご協力をお願いします。

なお、ご回答いただく内容は統計的に処理し、個人を特定した学内外への公表は行いません。また、上記目的外の使用はいたしませんのでご安心ください。

※文部科学省と協議中のため、コース等は変更の可能性があります。

令和元年10月

北海道教育大学長 蛇 穴 治 夫

あなたの情報についてお聞きします。（当てはまる学年・所属に○）

学年	① 3年生	② 4年生	③ その他（ ）
所属	札幌校 教員養成課程	① 学校教育専攻 ③ 言語・社会教育専攻 ⑤ 生活創造教育専攻 ⑦ 養護教育専攻	② 特別支援教育専攻 ④ 理数教育専攻 ⑥ 芸術体育教育専攻 ⑧ その他（ ）
	旭川校 教員養成課程	⑨ 教育発達専攻 ⑪ 英語教育専攻 ⑬ 数学教育専攻 ⑮ 生活・技術教育専攻 ⑰ その他（ ）	⑩ 国語教育専攻 ⑫ 社会科教育専攻 ⑭ 理科教育専攻 ⑯ 芸術・保健体育教育専攻
	釧路校 教員養成課程	⑱ 地域学校教育専攻 ⑳ 学校カリキュラム開発専攻	⑲ 地域・環境教育専攻 ㉑ その他（ ）
	函館校 国際地域学科	㉒ 地域協働専攻 ㉔ その他（ ）	㉓ 地域教育専攻
	岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科	㉕ 芸術・スポーツビジネス専攻 ㉖ 音楽文化専攻 ㉘ スポーツ文化専攻	㉗ 美術文化専攻 ㉙ その他（ ）

（次のページに続きます。）

設問 4 本学の新教職大学院についてお聞きします。

問 1 改組計画中の学部直進者を対象とする以下の4コースについて、関心があるか、また進学を希望するか、それぞれ4段階でご意見をお聞かせください。

子ども理解・学級経営コース

このコースでは、子どもの成長や発達について深く理解するとともに、教育の専門家に求められる児童・生徒指導力及び学級・集団等における指導力を育成します。

授業科目例：「子どもと教師の関係づくり」、「子どもの問題行動の実際と実践的対応」、「学級経営の実際と課題Ⅰ・Ⅱ」、「キャリア教育の実際と課題」、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」

関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない
<hr/>			
進学を強く希望する	進学を希望する	進学を今後検討する	進学を希望しない
<hr/>			

教科指導・授業開発コース

このコースでは、多様な子どもの学びを展開する教科指導の実践に係る専門家に求められる、小中高の各教科における専門的な教科指導力及び教材開発力を育成します。

授業科目例：「授業デザインの基礎」、「教科等横断的な視点に立った授業開発」、「学習評価の理論と実際」、「総合的な学習の時間の実践と課題」、「教科内容研究（国語科教育国語学分野）Ⅰ」、「教科内容研究（社会科教育歴史学分野）Ⅱ」、「教科内容研究（理科教育生物学分野）Ⅲ」

関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない
<hr/>			
進学を強く希望する	進学を希望する	進学を今後検討する	進学を希望しない
<hr/>			

特別支援教育コース

このコースでは、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善・克服する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目例：「特別支援教育の教育課程と授業の在り方」、「特別支援教育における教育相談と保護者支援」、「特別支援教育コーディネータの役割と課題Ⅰ・Ⅱ」、「障害のある子どもの理解と支援」

関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない
<hr/>			
進学を強く希望する	進学を希望する	進学を今後検討する	進学を希望しない
<hr/>			

(次のページに続きます。)

養護教育コース

このコースでは、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、子どもの心身の健康問題に対応する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目名：「保健組織活動におけるマネジメント」、「養護活動と保健教育」、「養護実践の理論と方法」、「子どもの心身の健康における協働的援助」

関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない
<hr/>			
進学を強く希望する	進学を希望する	進学を今後検討する	進学を希望しない
<hr/>			

設問5 その他についてお聞きします。

問1 本学教職大学院の説明会に参加したいですか。(一択)

- ① 参加したい ② 参加したくない

問2 教職大学院改組計画全体について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご記入をお願いします。

以上です。ご協力ありがとうございました。

担当：企画課企画・研究グループ
住所：札幌市北区あいの里5条3丁目1-3
連絡先：s-kikaku@j.hokkyodai.ac.jp

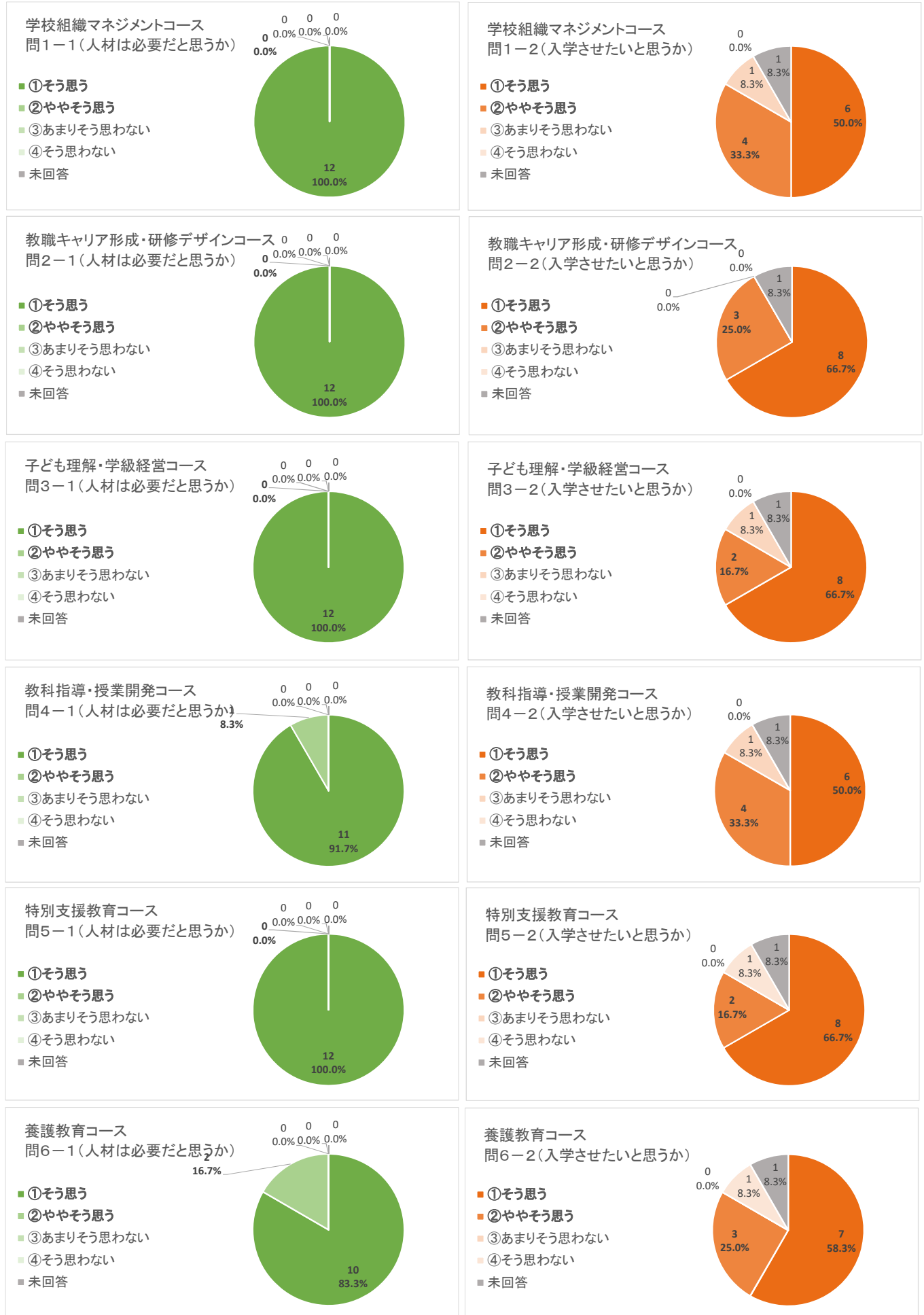
北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果 (附属学校教員(管理職)向けアンケート)

資料 4

対象者: 本学附属学校の副校長、副園長11名及び、本学札幌小中特別支援学級の特命教頭1名(回答率100%)
実施時期: 令和2年2月12日～2月17日

資料4-1

設問2 新教職大学院6コースの養成人材像の必要性、校内の教員に入学させたいと思うか



北海道教育大学教職大学院に関するアンケート

管理職用

平成 20 年 4 月、教員養成に特化した専門職大学院として北海道教育大学教職大学院（大学院教育学研究科（高度教職実践専攻））を設置し、令和元年度で 12 年目を迎えました。そして令和 3 年度から、学校経営力を強化する管理職育成から、教科指導力や学級経営力を強化する中核的教員の育成、さらに特別支援教育や養護教育を担う教員の更なる力量形成を担うことのできる、全 6 コースに改組（リニューアル）する予定です。いずれのコースも現職者の学修に対応するため夜間開講を中心としています。

この度、改組に向けたニーズを把握するためにアンケートを実施しますので、御協力の程宜しく申し上げます。

なお、御回答いただく内容は統計的に処理し、個人や学校を特定した学内外への公表は行いません。また上記目的外の使用はいたしませんので御安心ください。

※文部科学省と協議中のため、コース等は変更の可能性があります。

令和 2 年 2 月

北海道教育大学長 蛇 穴 治 夫

設問 1 以下の問にお答えください。

問 1 学校名（当てはまる番号 1 つに○）

- ① 附属札幌小学校 ② 附属札幌中学校 ③ 附属旭川幼稚園 ④ 附属旭川小学校
 ⑤ 附属旭川中学校 ⑥ 附属釧路小学校 ⑦ 附属釧路中学校 ⑧ 附属函館幼稚園
 ⑨ 附属函館小学校 ⑩ 附属函館中学校 ⑪ 附属特別支援学校
 ⑫ 札幌小中特別支援学級（ふじのめ学級）

問 2 役 職 _____

設問 2 新教職大学院の以下の 6 コースについて、御意見をお聞かせください。なお、本学大学院への入学にあたり、入学科及び授業料が免除になる「北海道教育大学附属学校教員大学院研修制度」は、令和 3 年度以降も継続する予定です。

学校組織マネジメントコース

このコースでは、学校経営や教育行政において管理職や指導的役割を果たす人材に求められる、学校経営・管理能力及び教育行政専門力を高度に育成します。

授業科目例：「学校組織マネジメントの理論」、「管理職に求められるリーダーシップ」、「学校運営と教育法規」、「教員の働き方と校務の効率化」

問 1 - 1 学校経営・管理能力及び教育行政専門力を有する人材が必要だと思いますか。（当てはまる番号 1 つに○）

- ① そう思う ② ややそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

問 1 - 2 今後、教員を新教職大学院の「学校組織マネジメントコース」に入学させたいと思いますか。（当てはまる番号 1 つに○）

- ① そう思う ② ややそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

問 1 - 3 問 1 - 2 で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

教職キャリア形成・研修デザインコース

このコースでは、学校や地域の研究推進リーダー及び教育委員会等の指導的役割を担う人材に求められる、学校や地域におけるミドルリーダー力を育成します。

授業科目例：「教師としてのキャリア・デザイン」、「学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題」、「授業研究の理論と実践」、「カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用」

問2-1 学校や地域におけるミドルリーダー力を有する人材が必要だと思いますか。(当てはまる番号1つに○)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問2-2 今後、教員を新教職大学院の「**教職キャリア形成・研修デザインコース**」に入学させたいと思いますか。(当てはまる番号1つに○)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問2-3 問2-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

子ども理解・学級経営コース

このコースでは、子どもの成長や発達について深く理解するとともに、教育の専門家に求められる児童・生徒指導力及び学級・集団等における指導力を育成します。

授業科目例：「子どもと教師の関係づくり」、「子どもの問題行動の実際と実践的対応」、「学級経営の実際と課題Ⅰ・Ⅱ」、「キャリア教育の実際と課題」、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」

問3-1 子どもの成長や発達について深く理解するとともに、児童・生徒指導力及び学級・集団等における指導力を有する人材が必要だと思いますか。(当てはまる番号1つに○)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問3-2 今後、教員を新教職大学院の「**子ども理解・学級経営コース**」に入学させたいと思いますか。(当てはまる番号1つに○)

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問3-3 問3-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

教科指導・授業開発コース

このコースでは、多様な子どもの学びを展開する教科指導の実践に係る専門家に求められる、小中高の各教科における専門的な教科指導力及び教材開発力を育成します。

授業科目例：「授業デザインの基礎」、「教科等横断的な視点に立った授業開発」、「学習評価の理論と実際」、「総合的な学習の時間の実践と課題」、「教科内容研究（国語科教育国語学分野）」、「教科内容研究（社会科教育歴史学分野）」、「教科内容研究（理科教育生物学分野）」

問4-1 小中高の各教科における専門的な教科指導力及び教材開発力を有する人材が必要だと思いますか。（当てはまる番号1つに○）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問4-2 今後、教員を新教職大学院の「教科指導・授業開発コース」に入学させたいと思いますか。（当てはまる番号1つに○）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問4-3 問4-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

特別支援教育コース

このコースでは、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善・克服する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目例：「特別支援教育の教育課程と授業の在り方」、「特別支援教育における教育相談と保護者支援」、「特別支援教育コーディネータの役割と課題Ⅰ・Ⅱ」、「障害のある子どもの理解と支援」

問5-1 障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善・克服するための高度な指導力を有する人材が必要だと思いますか。（当てはまる番号1つに○）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問5-2 今後、教員を新教職大学院の「特別支援教育コース」に入学させたいと思いますか。（当てはまる番号1つに○）

- ①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問5-3 問5-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

養護教育コース

このコースでは、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、子どもの心身の健康問題に対応する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目名：「保健組織活動におけるマネジメント」、「養護活動と保健教育」、「養護実践の理論と方法」、「子どもの心身の健康における協働的援助」

問6-1 保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、子どもの心身の健康問題に対応する専門家に求められる高度な指導力を有する人材が必要だと思いますか。(当てはまる番号1つに○)

①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問6-2 今後、教員を新教職大学院の「養護教育コース」に入学させたいと思いますか。(当てはまる番号1つに○)

①そう思う ②ややそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない

問6-3 問6-2で「③あまりそう思わない」または「④そう思わない」を選択した場合、その理由を御記入願います。

設問3 教職大学院改組計画全体について、御意見・御要望等がありましたら、御記入願います。

以上です。御協力ありがとうございました。

回答後は2月17日(月)までに、各校の附属学校グループへ御提出願います。

担 当：企画課企画・研究グループ
住 所：札幌市北区あいの里5条3丁目1-3
連絡先：s-kikaku@j.hokkyodai.ac.jp

北海道教育大学教職大学院に関するアンケート集計結果 (附属学校教員(一般教員)向けアンケート)

対象者: 本学附属学校教員(一般教員)(管理職、休職中の教員、育休中の教員、任期付き教員、再雇用教員は除く)
実施時期: 令和2年2月12日～2月17日

対象者数	163
回答数	156
回答率	95.7%

資料5-1

設問1 回答者の属性

問1 所属校種

①幼稚園	7	4.5%
②小学校	58	37.2%
②小学校(特別支援学級)	4	2.6%
③中学校	56	35.9%
③中学校(特別支援学級)	4	2.6%
④特別支援学校	26	16.7%
未回答	1	0.6%
合計	156	100.0%

問2 年齢

①20代	9	5.8%
②30代	78	50.0%
③40代	59	37.8%
④50代	9	5.8%
未回答	1	0.6%
合計	156	100.0%

問3 担当科目(中学校のみ,複数回答可)

①国語	8	12.9%
②社会	8	12.9%
③英語	7	11.3%
④数学	7	11.3%
⑤理科	8	12.9%
⑥保健体育	5	8.1%
⑦音楽	2	3.2%
⑧美術	4	6.5%
⑨技術	3	4.8%
⑩家庭	3	4.8%
⑪養護教諭	4	6.5%
⑫栄養教諭	0	0.0%
⑬その他	3	4.8%
合計	62	100.0%

問4 所持している免許状(複数回答可)

1. 幼稚園教諭

①専修	1	0.6%
②1種	10	6.4%
③2種	8	5.1%
所持していない	137	87.8%
合計	156	100.0%

2. 小学校教諭

①専修	33	21.2%
②1種	77	49.4%
③2種	9	5.8%
所持していない	37	23.7%
合計	156	100.0%

3. 中学校教諭

①専修	48	30.8%
②1種	75	48.1%
③2種	12	7.7%
所持していない	21	13.5%
合計	156	100.0%

4. 高等学校教諭

①専修	43	27.6%
②1種	66	42.3%
所持していない	47	30.1%
合計	156	100.0%

5. 特別支援学校教諭

①専修	9	5.8%
②1種	22	14.1%
③2種	20	12.8%
所持していない	105	67.3%
合計	156	100.0%

6. 養護教諭

①専修	2	1.3%
②1種	8	5.1%
③2種	2	1.3%
所持していない	144	92.3%
合計	156	100.0%

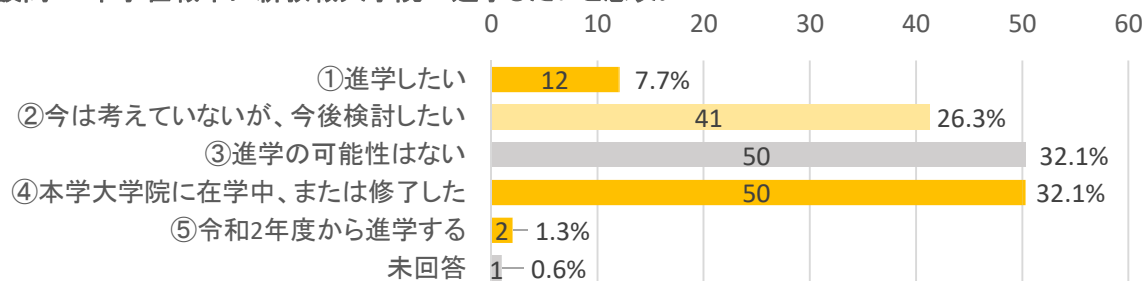
7. 栄養教諭

①専修	0	0.0%
②1種	2	1.3%
③2種	1	0.6%
所持していない	153	98.1%
合計	156	100.0%

問5 学級担任

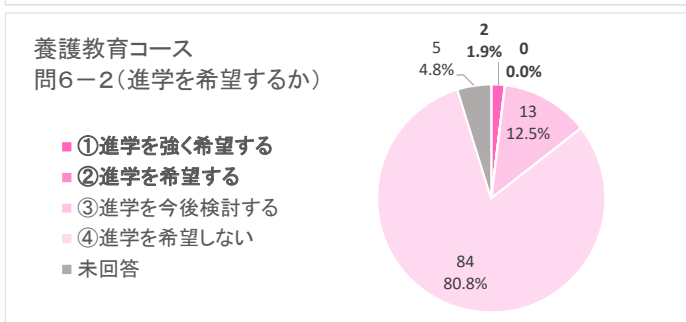
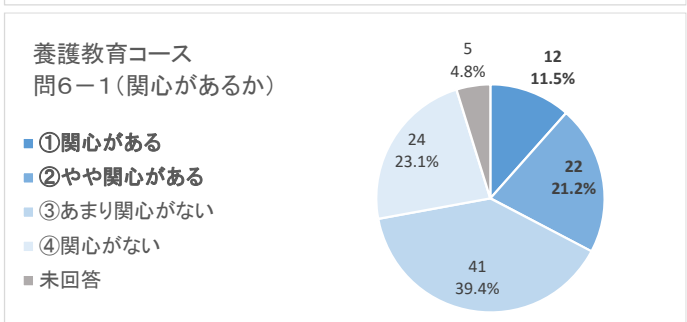
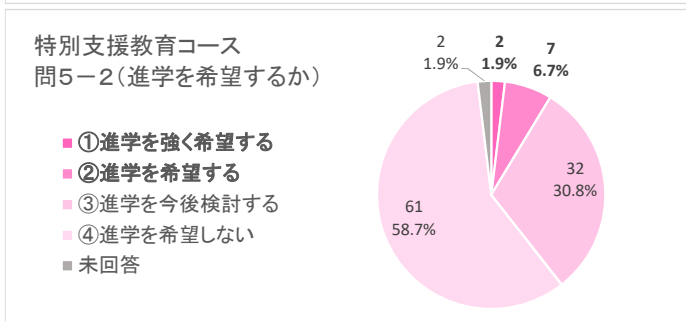
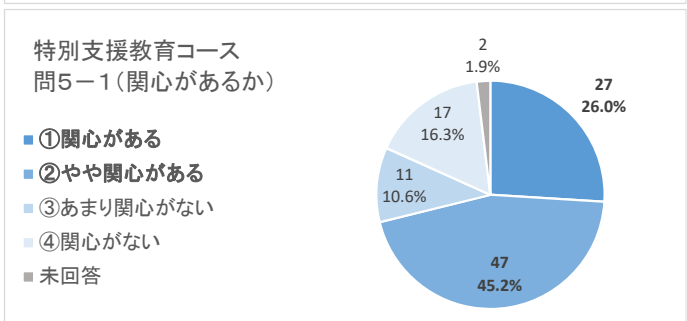
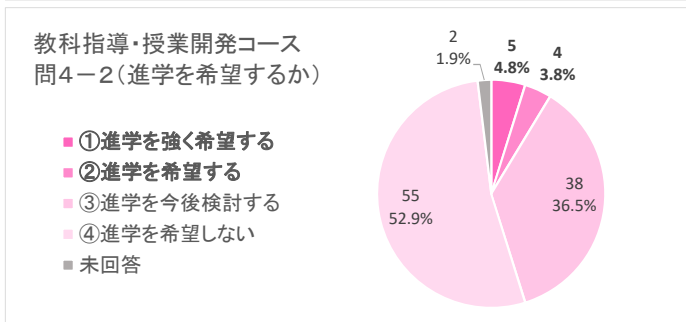
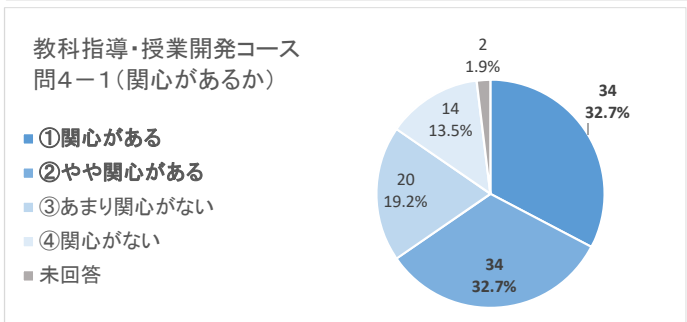
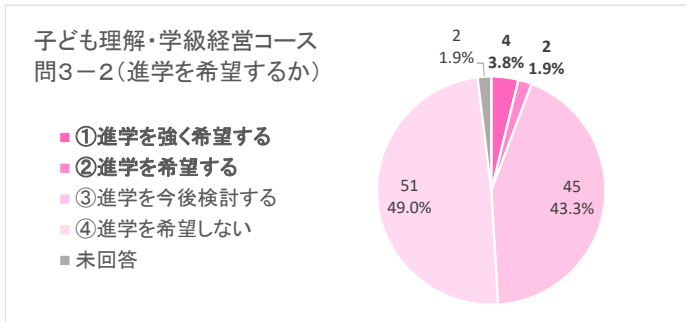
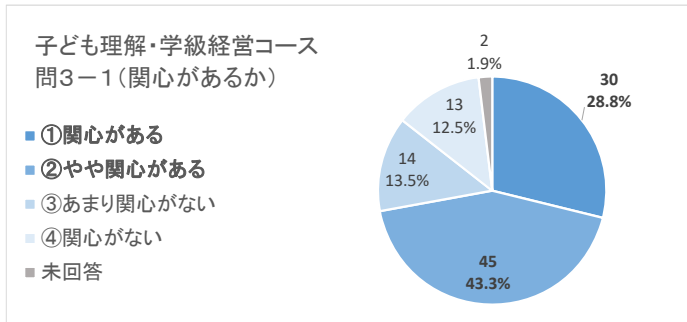
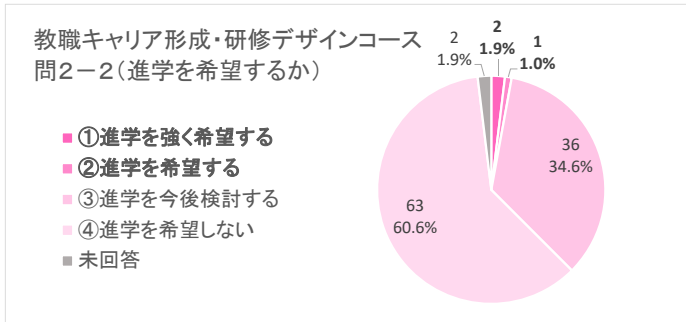
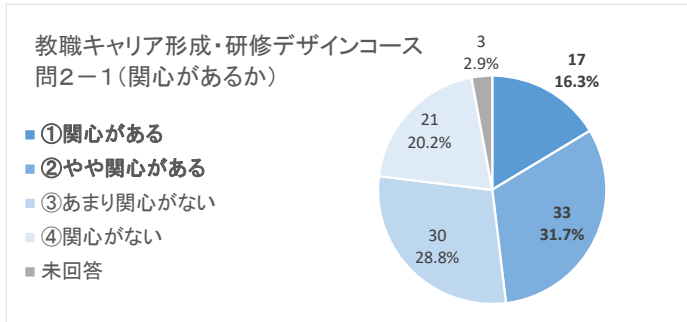
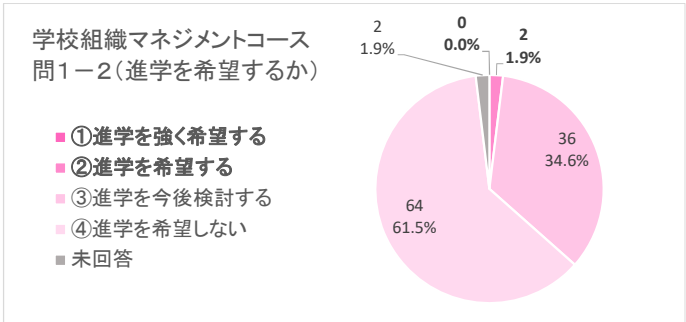
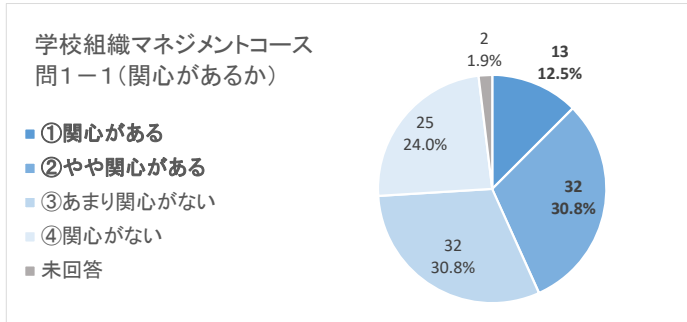
①担任である	96	61.5%
②副担任である	28	17.9%
③担任ではない	30	19.2%
未回答	2	1.3%
合計	156	100.0%

設問2 本学在職中に新教職大学院へ進学したいと思うか



進学の意思を示した教員(①+④+⑤)は、64人/5年間 → 年間で12.8人

設問3 新教職大学院の6コースへの関心の度合い、進学希望状況(設問2で①、②、③、未回答とした104名の回答)



北海道教育大学教職大学院に関するアンケート

一般教員用

平成20年4月、教員養成に特化した専門職大学院として北海道教育大学教職大学院（大学院教育学研究科（高度教職実践専攻））を設置し、令和元年度で12年目を迎えました。そして令和3年度から、学校経営力を強化する管理職育成から、教科指導力や学級経営力を強化する中核的教員の育成、さらに特別支援教育や養護教育を担う教員の更なる力量形成を担うことのできる、全6コースに改組（リニューアル）する予定です。いずれのコースも現職者の学修に対応するため夜間開講を中心としています。

この度、改組に向けたニーズを把握するためにアンケートを実施しますので、御協力の程宜しく申し上げます。

なお、御回答いただく内容は統計的に処理し、個人を特定した学内外への公表は行いません。回答結果が個人の不利益になることもございません。また、上記目的外の使用はいたしませんので御安心ください。

※文部科学省と協議中のため、コース等は変更の可能性があります。

令和2年2月

北海道教育大学長 蛇 穴 治 夫

設問1 以下の問にお答えください。（各項目当てはまる番号1つに○）

問1 所属校種 ① 幼稚園 ② 小学校 ③ 中学校 ④ 特別支援学校

問2 年 齢 ① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代以上

問3 担当教科・科目（中学校の教員の方のみお答えください。複数回答可）

- ① 国語 ② 社会 ③ 英語 ④ 数学 ⑤ 理科 ⑥ 保健体育 ⑦ 音楽
⑧ 美術 ⑨ 技術 ⑩ 家庭 ⑪ 養護教諭 ⑫ 栄養教諭 ⑬ その他（ ）

問4 所持している免許状（複数回答可）

1. 幼稚園教諭 ① 専修 ② 1種 ③ 2種
2. 小学校教諭 ① 専修 ② 1種 ③ 2種
3. 中学校教諭 ① 専修 ② 1種 ③ 2種 教科名（ ）

中学校教諭免許状を複数所持している場合、以下に記入してください。

- ① 専修 ② 1種 ③ 2種 教科名（ ）
① 専修 ② 1種 ③ 2種 教科名（ ）

4. 高等学校教諭 ① 専修 ② 1種 教科名（ ）

高等学校教諭免許状を複数所持している場合、以下に記入してください。

- ① 専修 ② 1種 教科名（ ）
① 専修 ② 1種 教科名（ ）

5. 特別支援学校教諭 ① 専修 ② 1種 ③ 2種

6. 養護教諭 ① 専修 ② 1種 ③ 2種

7. 栄養教諭 ① 専修 ② 1種 ③ 2種

問5 学級担任 ① 担任である ② 副担任である ③ 担任ではない

※この先の設問は、今後5年間附属学校で勤務すると仮定してお答えください。

設問2 本学在職中に、北海道教育大学の新しい教職大学院へ進学したいと思いますか。なお、本学大学院への入学にあたり、入学料及び授業料が免除になる「北海道教育大学附属学校教員大学院研修制度」は、令和3年度以降も継続する予定です。(当てはまる番号1つに○)

- ① 進学したい ② 今は考えていないが、今後検討したい
③ 進学の可能性はない
④ 本学の大学院（教職大学院、修士課程）に在学している、又は修了した
→④と回答した方は、アンケート終了です。御協力ありがとうございました。

設問3 新教職大学院の以下の6コースについて、関心があるか、また本学在職中に進学を希望するか、それぞれ4段階で御意見をお聞かせください。(各項目当てはまる番号1つに○)

学校組織マネジメントコース

このコースでは、学校経営や教育行政において管理職や指導的役割を果たす人材に求められる、学校経営・管理能力及び教育行政専門力を高度に育成します。

授業科目例：「学校組織マネジメントの理論」、「管理職に求められるリーダーシップ」、「学校運営と教育法規」、「教員の働き方と校務の効率化」

問1-1 ①関心がある ②やや関心がある ③あまり関心がない ④関心がない

--	--	--	--

問1-2 ①進学を強く希望する ②進学を希望する ③進学を今後検討する ④進学を希望しない

--	--	--	--

教職キャリア形成・研修デザインコース

このコースでは、学校や地域の研究推進リーダー及び教育委員会等の指導的役割を担う人材に求められる、学校や地域におけるミドルリーダー力を育成します。

授業科目例：「教師としてのキャリア・デザイン」、「学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題」、「授業研究の理論と実践」、「カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用」

問2-1 ①関心がある ②やや関心がある ③あまり関心がない ④関心がない

--	--	--	--

問2-2 ①進学を強く希望する ②進学を希望する ③進学を今後検討する ④進学を希望しない

--	--	--	--

子ども理解・学級経営コース

このコースでは、子どもの成長や発達について深く理解するとともに、教育の専門家に求められる児童・生徒指導力及び学級・集団等における指導力を育成します。

授業科目例：「子どもと教師の関係づくり」、「子どもの問題行動の実際と実践的対応」、「学級経営の実際と課題Ⅰ・Ⅱ」、「キャリア教育の実際と課題」、「保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり」

問3-1 ①関心がある ②やや関心がある ③あまり関心がない ④関心がない

--	--	--	--

問3-2 ①進学を強く希望する ②進学を希望する ③進学を今後検討する ④進学を希望しない

--	--	--	--

教科指導・授業開発コース

このコースでは、多様な子どもの学びを展開する教科指導の実践に係る専門家に求められる、小中高の各教科における専門的な教科指導力及び教材開発力を育成します。

授業科目例：「授業デザインの基礎」、「教科等横断的な視点に立った授業開発」、「学習評価の理論と実際」、「総合的な学習の時間の実践と課題」、「教科内容研究（国語科教育国語学分野）」、「教科内容研究（社会科教育歴史学分野）」、「教科内容研究（理科教育生物学分野）」

問4-1 ①関心がある ②やや関心がある ③あまり関心がない ④関心がない

--	--	--	--

問4-2 ①進学を強く希望する ②進学を希望する ③進学を今後検討する ④進学を希望しない

--	--	--	--

特別支援教育コース

このコースでは、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、生活や学習上の困難を改善・克服する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目例：「特別支援教育の教育課程と授業の在り方」、「特別支援教育における教育相談と保護者支援」、「特別支援教育コーディネータの役割と課題Ⅰ・Ⅱ」、「障害のある子どもの理解と支援」

問5-1 ①関心がある ②やや関心がある ③あまり関心がない ④関心がない

--	--	--	--

問5-2 ①進学を強く希望する ②進学を希望する ③進学を今後検討する ④進学を希望しない

--	--	--	--

養護教育コース

このコースでは、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、子どもの心身の健康問題に対応する専門家に求められる高度な指導力を育成します。

授業科目名：「保健組織活動におけるマネジメント」、「養護活動と保健教育」、「養護実践の理論と方法」、「子どもの心身の健康における協働的援助」

問6-1 ①関心がある ②やや関心がある ③あまり関心がない ④関心がない

--	--	--	--

問6-2 ①進学を強く希望する ②進学を希望する ③進学を今後検討する ④進学を希望しない

--	--	--	--

設問4 教職大学院改組計画全体について、御意見・御要望等がございましたら、御記入願います。

--

以上です。御協力ありがとうございました。

回答後は2月17日（月）までに、各校の附属学校グループへ御提出願います。

担 当：企画課企画・研究グループ
住 所：札幌市北区あいの里5条3丁目1-3
連絡先：s-kikaku@j.hokkyodai.ac.jp

北海道教育大学附属学校教員大学院研修制度実施要項（案）

平成30年7月24日制定
令和3年4月1日改正

（趣旨）

第1条 この要項は、北海道教育委員会又は札幌市教育委員会から交流人事により北海道教育大学（以下「本学」という。）の附属学校（園）に採用した教員（以下「教員」という。）の教育力向上を図るとともに、人事交流終了後における北海道の学校教育での活躍を期待しうる人材を育成するため、教員に、授業料等を免除した上で、本学大学院の授業を履修させる方法により行う研修（以下「研修」という。）について必要な事項を定める。

（研修員の要件）

第2条 研修を受ける者（以下「研修員」という。）は、本学の附属学校（園）の教員で次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 教職経験3年以上で、研修終了後も引き続き附属学校（園）の教員として勤務する意思を有するものであること。
- (2) 研修に積極的に取り組む意欲を有するもの、及び附属学校（園）、教育委員会、公立学校等において広く研修成果を還元する意欲を有するものであること。
- (3) 心身が研修に耐え得るものであること。

（研修期間）

第3条 研修期間は、原則として6月以上2年以内とする。

（推薦）

第4条 研修員となることを希望する者は、所属する附属学校（園）の長に対し、その旨申し出るものとする。

- 2 前項の申し出を受けた附属学校（園）の長は、当該者が第2条各号に規定する要件を満たし、かつ、研修員となることが附属学校（園）に運営上支障を来たさない場合には、附属学校教員大学院研修員調書（別記様式第1号）を添えて、学長に推薦することができるものとする。

（決定）

第5条 学長は、前条第2項の推薦があった者の中から研修員を内定し、内定した者のうち本学大学院に入学することが決定した者を研修員とする。

（大学院の授業料等）

第6条 研修員の本学大学院入学に係る入学料及び授業料は、徴収しないものとする。

（代替講師）

第7条 研修員の所属する附属学校（園）に、当該附属学校（園）の教員組織等を勘案して、当該研修員の代替の非常勤講師を雇用することができるものとする。~~ただし、代替の非常勤講師に係る予算措置については、附属学校（園）全体で、非常勤講師11名分の給与相当額を上限とする。~~

(研修の中断)

第8条 研修員は、研修期間中に研修を中断したときは、ただちにその理由を付して、学長に報告しなければならない。研修を再開したときも同様とする。

(研修の中止)

第9条 研修員は、やむを得ない事情がある場合を除き、研修を中止することができない。

2 研修員は、研修を中止しようとするときは、あらかじめその理由を付して学長に申し出なければならない。

3 学長は、前項の申し出を受けた場合、研修の中止の可否を決定し、当該決定を当該研修員及び所属する附属学校（園）の長に通知する。

(研修の終了)

第10条 研修員は、研修期間の終了後、ただちに附属学校教員大学院研修終了届（別記様式第2号）及び附属学校教員大学院研修成果報告書（別記様式第3号）を学長に提出しなければならない。

(その他)

第11条 前条までの規定は、北海道教育委員会又は札幌市教育委員会からの交流人事による採用以外の附属学校（園）教員についても準用する。

附 則

1 この要項は、平成30年7月24日から施行する。

2 北海道教育大学附属学校教員大学院研修制度実施要項（平成15年12月22日学長裁定）は、廃止する。

附 則（令和○年○月○日）

1 この要項は、令和3年4月1日から施行する。